

赤かび病防除（2回）の徹底で、赤かび粒混入率0.0%

農薬の安全使用と
生産履歴の記帳

8年産 麦栽培ごよみ

J A 直 鞍
飯塚普及指導センター

高品質麦の安定生産・ちくしW2号タンパク質12%以上目標

重点ポイント				対 策												効 果					
土 づ く り				・ 土壌改良資材の施用(適正pH6.0～6.5)・ 作土深の確保(15cm以上)・ 堆肥の施用(10a当たり2t)												・ 高品質で安定した生産					
排 水 対 策				・ 弾丸暗渠(地下排水対策)・ 明渠、額縁排水(表面排水対策)												・ 生育不良防止・ 枯れ熟れ防止					
適 期 播 種				・ ちくしW2号11月15日～12月15日、はるか二条11月10日～30日												・ 適正な初期生育の確保					
管 理 作 業				・ 除草剤の適正な使用 ・ 土入れ、麦踏み(土壌の乾いているとき) ・ 溝さらえ(排水口に繋ぐ)												・ 雑草害の防止・ 倒伏防止と過繁茂抑制					
適 期 防 除 (赤 か び 病)				・ 大粒大麦(穂揃い期の10日後とその7～10日後の2回)・ 小麦(開花期とその7～10日後の2回)												・ 被害粒の混入防止・ 高品質麦の生産					
適 期 収 穫				・ 大粒大麦(穀粒水分25%以下、穂首が8割以上曲がる頃)・ 小麦(穂首が黄化し、粒の背側が褐色となり完全粒の割合が80%以上)												・ 粒の損傷防止					

月・旬	11			12			1			2			3			4			5			6	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	
小 麦	主 な 作 業	除草剤散布(播種直後) 播種・基肥・作溝 種子消毒 耕起(深耕)・整地・額縁排水 土壌改良資材の施用 (播種適期) 小麦			麦 踏 み			追 肥 ① 土入れ(本葉3～4葉頃) 麦 踏 み 除草剤散布(生育中期)			麦 踏 み			追 肥 ② 土入れ 溝さらえ 黄斑病防除			出穂期 穂揃い期追肥③ 赤かび病防除①② (開花期とその7～10日後の2回)			成 熟 期 収穫 成熟期2～3日後			完熟粒の割合が80%以上 粒の青側が褐色となり 穀粒水分が30%以下 出穂期から約50日後頃
		品質目標			ちくしW2号			1. タンパク質含有率 12.0%以上			2. フォーリングナンバー 300以上			3. 灰分 1.75%以下			4. 容積量 833g/ℓ以上						
大 麦	主 な 作 業	除草剤散布(播種直後) 播種・基肥・作溝 種子消毒 耕起(深耕)・整地・額縁排水 pH6.0～6.5事前に土壌分析を行う事 土壌改良資材の施用 (播種適期) 大麦			麦 踏 み			追 肥 ① 土入れ(本葉3～4葉頃) 麦 踏 み 除草剤散布(生育中期)			麦 踏 み			追 肥 ② 土入れ 溝さらえ 網斑病防除			出穂期 穂揃い期の10日後と その7～10日後の2回 赤かび病防除①②			成 熟 期 収穫 成熟期3～4日後			穀粒が黄白色になった頃 穂首が8割以上曲がり 穀粒水分が25%以下 出穂期から約45日後頃
		大粒大麦の条件			はるか二条			1. 容積量 709g/ℓ 以上			2. 細麦率 2.5mm(篩)下に3.0%以下			3. 白度 40以上			4. 正常粒率 80%以上						

《品種特性》

品 種 名		出穂期 月 日	成熟期 月 日	稈 長 cm	穂 長 cm	m ² 当り 穂数本	10a当り 収量 kg	倒伏 耐性	穂発 芽性	耐病性 赤かび・うどんこ
小 麦	ちくしW2号	4.5	5.29	84	9.2	482	497	強	難	やや弱・やや強
大 麦	はるか二条	4.3	5.15	79	6.5	654	572	強	やや難	中・極強

※播種期は、小麦：11月20日～25日前後、大麦：11月18日～12月3日前後。

1. 土壌改良資材 (10a当たり)			(参考) 土壌pHと麦の収量指数 (%)				
品 名	使 用 量	種 類	pH				
炭酸苦土石灰精粒	100kg		4.5	5.0	5.7	6.8	
ケ イ カ ル	160kg	小 麦	68	76	89	100	
ミ ネ ラ ル G	160kg	大 麦	0	23	80	95	

※麦類(特に大麦)は酸性障害に弱いので、石灰資材による
酸度矯正を行いましょう(酸度矯正の目安はpH6.0～6.5)。

2. 播種時期と播種量（ドリル播）			（10a 当たり）
品 種 名		11月15日～30日	12月1日～15日
小麦	ちくし W 2 号	6～7kg	9～10kg
大麦	はるか二条	11月10日～30日	
		7～8kg	

※上記の品種別播種時期は、共乾施設の荷受が競合するため必ず厳守してください。

3. 種子消毒

薬剤名	事 項	処理方法	濃 度	作 業 方 法
トリフミン水和剤 (班葉病、網斑病、 なまぐさ黒穂病、裸黒穂病)		種子粉衣	種子重量の 0.5%	種子10kgに薬剤50gを袋等に入れて、 まんべんなく粉衣する。
キヒゲンR-2フロアブル (班葉病、網斑病(小麦)、 なまぐさ黒穂病、ヤギシロトビムシ(小麦))		種子塗沫	-	種子10kgに薬剤200mlを袋等に入れて、 まんべんなく塗沫する。

※ヤギシロトビムシ対策(小麦)：上記種子消毒に加えてアドマイヤー水和剤を種子10kgに薬剤15gを粉衣する。

4. 施肥基準 (10a当たり)					
品 種 名	基 肥	追肥① 1月中下旬	追肥② 3月上旬	穂揃い期追肥③ 4月中旬	
小 麦	ちくしW2号	ベスト4・4・4 30kg 又は 硫安 20kg	硫安 10kg	硫安 25kg 又は大粒尿素10kg	
		たんば君 35～40kg		硫安 15kg	
大 麦	はるか二条	ベスト4・4・4 30kg 又は 硫安 20kg	硫安 10kg		
		麦追肥名人 30kg			

※大豆後作の場合、基肥の量を20kgとし、追肥は生育状況に応じて施用する。
※小麦については、タンパク質含有率向上のため、必ず穂揃い期追肥③を施用する。
※穂揃い期追肥③については、以下の尿素葉面散布という方法もあります。
・動力噴霧機やブームスプレーヤにより、液剤で赤かび病防除を行う際に、防除薬液に尿素を溶かして散布する方法です。尿素については、10a当たり4.3kg(窒素成分で約2kgの換算)で防除薬液(100～150ℓ/10a)に溶かして散布する方法もあります。散布後、小麦の穂先の芒や葉先がやけて枯れますが、生育に問題はありません。

5. 雑草防除基準 ヤエムグラ・カラスノエンドウ等の異物(雑草の実)混入防止を徹底 (10a当たり)

事項 区分	薬 剤 名	処理時期	使用量 (希釈水量)	使用回数	備 考
播 種 前 時	ラウンドアップマックスロード	播種前～ 播種後出芽前 まで	200～500ml (50～100ℓ)	3回以内	播種前に雑草が多発している 場合は散布する。
播 種 後	リベレーターフロアブル	播種後～ 麦3葉期まで (イネ科雑草1葉期まで)	60～80ml (100ℓ)	1回以内	抵抗性スズメノテッポウ・雑草(イネ科・広葉) に効果が高い。葉害軽減のため、大麦、砂壤土 等では散布量に注意する。葉害軽減のため、大 麦、砂壤土等では70ml/100ℓとする。
	リベレーターフロアブル + トレファノサイド乳剤 (雑草多発圃場)	播種後～ 麦3葉期まで	60～80ml (100ℓ) 200～300ml (100ℓ)	1回以内 2回以内	昨年、雑草が多発した圃場では、 リベレーターフロアブル に混用する。
	キックボクサー細粒剤F	播種後～ 出芽前まで	3～4kg	1回以内	効果安定のために土壌が適度 に水分を含んでいる時に散布 する。
生 育 中 期	ハーモニ-75DF水和剤 (一部のイネ科、広葉)	麦3葉期～ 節間伸長前まで	5～10g ※雑草多10g (50～100ℓ)	1回以内	スズメノテッポウ5葉期まで。スズ メノカタビラには効かない。周辺作 物へのドリフトに十分注意する。
	エコパートフロアブル (広葉)	節間伸長開始期まで (広葉雑草2～4葉期、 ヤエムグラ2～6節期) 但し、収穫45日前まで	50～100ml (100ℓ)	2回以内	イネ科には効かない。ヤエム グラに効果が高い。
	MCPソーダ塩 (広葉)	幼穂形成期 但し、 収穫45日前まで	200～300g (70～100ℓ)	1回以内	イネ科には効かない。トゲミノ キツネノボタンに効果が高い。
	バサグラン液剤(Na塩) (広葉)	生育期(雑草の3～6葉期) (小麦は収穫45日前まで、 大麦は収穫90日前まで)	100～200ml (70～100ℓ)	1回以内	イネ科には効かない。トゲミノ キツネノボタンに効果が高い。

※ハーモニ-75DF水和剤散布後の注意
散布に用いた動噴、ホース等は、消石灰500倍液を10分間循環させ、20分間放置し排水後、清水で洗浄する。

6. 病害防除					(10a当たり)		
事項 区分	薬 剤 名	散布量 (希釈水量)	使用回数	使用時期	適用病害名		
					赤かび病	網斑病	黄斑病
小 麦	ミラビスフロアブル	1500～2000倍 (50～150ℓ)	2回以内	収穫7日前まで	○	—	×
	ワークアップフロアブル	2000～3000倍 (60～150ℓ)	3回以内	収穫7日前まで	○	—	○ (希釈倍率2000倍)
大 麦	ミラビスフロアブル	1500～2000倍 (60～150ℓ)	2回以内	収穫14日前まで	○	○	—
	ワークアップフロアブル	2000～3000倍 (60～150ℓ)	3回以内	収穫7日前まで	○	○ (希釈倍率2000倍)	—

※赤かび病防除の散布時期は
大粒大麦……穂揃い期の10日後(葯殻抽出期)とその7～10日後の2回
小麦……開花期とその7～10日後の2回
※散布時期により使用できる薬剤が違いますので、注意してください。